

III

明日を生み出すエネルギー やる気を活かせる まちをつくろう

“大家族” が楽しく暮らせる生活環境を、

まちの資源を活かしながら、

みんなでまちのエネルギーを生み出していきます。

▶ 基本目標Ⅲ 明日を生みだすエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

目標（6）

産業を活性化して、まちを元気にします

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 産業活動が活発に行われ、市内の雇用が安定しています。
- ◎ 市内事業者の受注機会が増え、売り上げが増加しています。
- ◎ 市民が地域資源を掘り起こし、新たな視点も加え、まちの魅力を高めています。
- ◎ まちの魅力に触れようと市内外から多くの人々が訪れてきています。

目標達成に向けての考え方

産業は、まちに活力を生み出し、市民の働く場の確保や所得を得て、消費の場となるなど、安定した市民生活を支える基盤です。優良農地（*16）の保全をしつつ、地場産業の振興、企業誘致の促進、企業や事業者の新たな取り組みや意欲・挑戦を応援していきます。

- ◆ 地域経済の活性化や地域雇用の安定を図るため、優良農地を保全しつつ企業誘致を進めるとともに、既存企業の新たな取り組みや頑張りを支援することが重要です。
- ◆ 三州瓦の産地としての伝統技術・文化の継承のため、行政と業界がそれぞれの役割を担い、連携することが大切です。
- ◆ 地元の若者が地元の企業に興味を持ち、将来高浜市で活躍したいと感じられるよう地域と若者をつなげる仕組みが必要です。
- ◆ まちの魅力を発掘・育成・再確認し、自慢できるまちとして市内外に発信していくことが大切です。

MEMO

（＊）資料編「用語解説」（74 ページ）参照

こんなことに取り組みます！

- ☆ 農地とのバランスを考慮しつつ新たな工業用地を創出し、企業誘致を進めるとともに、既存企業の投資意欲を高める支援策を推進します。
- ☆ 災害による風評被害の払しょくや伝統性を活かした商品開発、ブランド化など、地場産業である三州瓦の優位性やデザイン性をPRするため、「高浜市みんなで三州瓦をひろめよう条例」を推進します。
- ☆ 高浜高校SBP（ソーシャルビジネスプロジェクト^{（＊17）}）を支援し、高浜市の産業を全国的にPRするなど、ビジネス手法を用いた若い世代の育成支援をします。
- ☆ 高浜市観光協会や関連団体が行うイベントや高浜市のPRに対し人的支援、活動支援をします。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 市内の法人数	919 社	930 社	↗
2) 行政がかかわるイベントの来場者数	86,000 人	100,000 人	↗
3) 製造品出荷額等	5,123.5 億円	6,227.7 億円	↗



▲工業用地（豊田町地区）



▲三河の窯業展のようす



▲Sの絆焼き型（高浜高校SBP）



▲鬼みちまつりのようす

▶ 基本目標Ⅲ 明日を生みだすエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

目標（7）

みんなでまちをきれいにします

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 地球環境から身近な生活環境まで、環境に配慮して行動する市民、事業者が増えています。
- ◎ ごみをつくらない（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）の3R活動が推進され、ごみの減量化が図られています。
- ◎ 道路や公園などに、ごみの散乱がなく、きれいで住みやすいまちになっています。

目標達成に向けての考え方

人類の共有財産である地球環境を守るため、一人ひとりが地球環境に対する意識を高め、地域・学校・事業者・関係機関と協力して環境に配慮した取組みを実践し、環境の負荷が少ない、快適できれいなまちを次世代に引き継ぎます。

- ◆ 一人ひとりが地球環境問題に関心を持ち、それぞれの立場で、積極的に環境保全活動に取り組むことが重要です。
- ◆ さらなるごみの減量化を図るには、ごみをつくらない（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）の3R活動を推進することが必要です。
- ◆ きれいで住みやすいまちをつくるには、環境美化・環境学習などの取組みが大切です。

MEMO

こんなことに取り組みます！

- ☆ 地域・学校・事業者・関係機関と連携した環境保全活動に取り組みます。
- ☆ 循環型社会の構築に向け、資源ごみのリサイクルを進め、ごみの減量化に取り組みます。
- ☆ 「高浜市みんなでまちをきれいにしよう条例」を推進し、環境美化活動を進めます。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 日ごろから省資源や省エネなど環境に配慮した生活をしている人の割合	78%	85%	↗
2) ④ 1人1日あたりの家庭ごみ排出量	540g	490g	↘
3) 市民一斉清掃や地域・企業での清掃活動に参加したことの人の割合	60%	71%	↗

④指標2) 1人1日あたりの家庭ごみ排出量では、4年間で「50gの削減」を目標としています。目安として、50gは「新聞見開き紙2枚半」に相当します。



▲企業による清掃活動



▲分別収集のようす

目標（8）

自然と都市機能が調和した都市空間をつくります

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 都市空間の調和を保ち、安心して安全な暮らしを支える道路などの整備・保全が計画的に行われています。
- ◎ 快適な生活の維持に必要不可欠なライフライン^{（*18）}が整備されるとともに、いつでもすべての市民に安定して水が供給できています。
- ◎ 公園・緑地などが地域とともに守り育てられ、まちの憩いの場として親しまれています。

目標達成に向けての考え方

住みやすい快適な都市空間をつくるため、道路やライフライン等について、予防保全型の計画的な維持管理や長寿命化を図るとともに、公園・緑地といった地域資源を地域とともに守り、まちの魅力を高めていきます。

- ◆ 快適かつ安全な暮らしを支え、経済活動を活性化できるよう、スムーズに移動できる道を維持するための定期的な調査・点検が必要です。
- ◆ 災害時でも安全・安心な住環境が確保できるよう、配水管の耐震化を長期的な観点で計画的に整えていくことが大切です。
- ◆ 魅力ある公園・緑地づくりのため、地域とともに適切な維持管理を行い、長寿命化させていくことが大切です。

MEMO

（＊）資料編「用語解説」（74 ページ）参照

こんなことに取り組みます！

- ☆ 道路や橋りょう等の計画的な維持管理のため、調査・点検を進め、改良や修繕を行います。
- ☆ 災害時でも水が安定的に供給できるよう、災害時避難所へ水道を供給する配水管を耐震管に布設替え（＊19）するなど、耐震化を進めます。
- ☆ 公園施設長寿命化計画に則って計画的に公園施設の修繕を進めるとともに、地域の関係団体と協働で「緑のあるまちづくり」を進めます。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 道路の長寿命化を計画的に実施した割合 (幹線道路の舗装)	18.4%	38.6%	↗
2) 配水管の耐震化率	18.5%	25%	↗
3) 公園・緑地・稗田川の水辺・港湾緑地（＊20） 等を利用している人の割合	20%	23%	↗



▲橋りょう法定点検状況（吉野橋）



▲地域による公園管理

▶ 基本目標Ⅲ 明日を生みだすエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

目標（9）

安全・安心が実感できるまちづくりを進めます

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 市民一人ひとりが、災害・犯罪・交通事故に対する予防や備えに取り組んでいます。
- ◎ 「自助」「共助」「公助」の考えに基づく役割分担と相互の連携が強化され、防災・減災対策、防犯・交通安全対策など、安全・安心を守る活動が地域の中で積極的に行われています。
- ◎ 誰もが安全で安心だと感じながら暮らしています。

目標達成に向けての考え方

近い将来に発生が予測される大震災に加え、集中豪雨・台風・火災などの災害、身近に起きる犯罪・交通事故から生命を守り、被害を最小限に食い止めるため、市民・地域・事業者・関係機関・行政がそれぞれの役割を果たし連携を図る中で、安全・安心に暮らせる環境を築いていきます。

- ◆ 災害に強いまちを築いていくためには、被害の未然防止、発生時の対応、応急・復旧対応といった、総合的な防災・減災対策を強化することが重要です。
- ◆ いざという時に「自らの安全は自ら守る（自助）」、「地域の安全は地域で守る（共助）」を意識し行動できるように、市民一人ひとりが、日頃から地域の中で防災力や防犯力などを高め、実践しておくことが大切です。
- ◆ 住宅侵入盗や特殊詐欺（*21）などの犯罪や交通事故などを防ぎ、日常の暮らしの安全・安心を守るためには、市民・地域・事業者・関係機関と連携した取り組みを行う必要があります。

MEMO

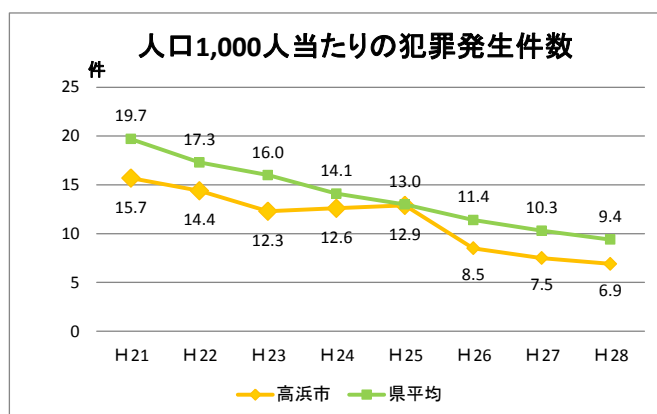
（＊）資料編「用語解説」（74 ページ）参照

こんなことに取り組みます！

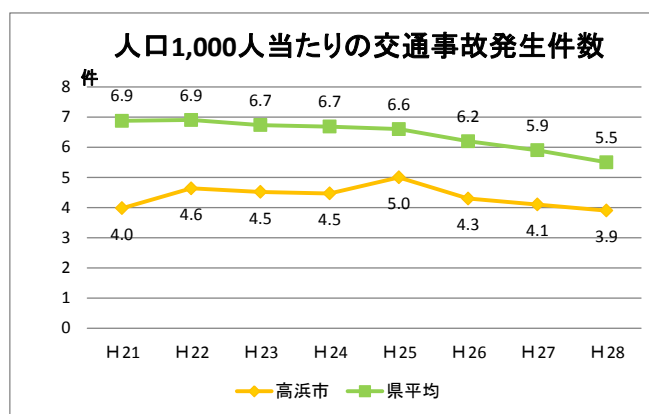
- ☆ 自然災害に対し、市民・地域・事業者・関係機関と「自助」「共助」「公助」の考えに基づく役割分担と相互の連携強化を図り、実践的な防災・減災活動に取り組みます。
- ☆ 「高浜市みんなで犯罪のないまちにしよう条例」に基づき、地域・警察等で構成する高浜市防犯ネットワーク会議を軸に、犯罪抑止活動を推進します。
- ☆ 地域・警察・事業者・関係機関と連携し、特に自転車の運転マナーの向上、高齢者や子どもの交通事故防止に向けた取組みなど、交通安全対策を進めます。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 家具を固定している人の割合	59%	70%	↗
2) 防災訓練に参加したことのある人の割合	62%	72%	↗
3) 人口 1,000 人当たりの犯罪発生件数	6.9 件	6.0 件	↘
4) 人口 1,000 人当たりの交通事故発生件数	3.9 件	3.0 件	↘



▲犯罪発生率の推移



▲交通事故発生率の推移